

2015年度目録委員会記録（案） No.3

第3回委員会

日時：2015年6月13日（土）14時～17時15分

場所：日本図書館協会

出席：渡邊委員長、木下、河野、田代、津田、野美山、平田、古川、村上、横山
<事務局>磯部

[配布資料]

1. 記述の部（「タイトル」「責任表示」「版表示」「逐次刊行物の順序表示」）の条文案について（5ページ-A4、NDL収集書誌部）
2. 「第2章 体現形（タイトル）」案（41ページ-A4、NDL収集書誌部）
3. 「第2章 体現形（責任表示）」案（11ページ-A4、NDL収集書誌部）
4. 「第2章 体現形（版表示）」案（11ページ-A4、NDL収集書誌部）
5. 「第2章 体現形（逐次刊行物の順序表示）」案（9ページ-A4、NDL収集書誌部）
6. （参考）第1章 属性総則（情報源）案（9ページ-A4、NDL収集書誌部）
7. 序文・総説案（2015.5案+渡邊コメント）（7ページ-A4、渡邊委員長）
8. 第Ⅱ部 属性 <属性の記録>（23ページ-A4、渡邊委員長）
9. 第Ⅱ部ユニットK タイトル（下位レベル）（第1次案）（2ページ-A4、古川委員）
10. 第Ⅱ部ユニットL 責任表示（下位レベル）（第1次案）（2ページ-A4、古川委員）
11. 第Ⅳ部 D.0～.2 資料と個人・家族・団体との関連（第2次案）（11ページ-A4、古川委員）
12. 第3部セクション8 第46章 個人、家族、団体との関連（14ページ-A4、村上委員）
13. 第Ⅲ部 アクセスポイント ユニットO 場所に対する典拠形アクセス・ポイント（13ページ-A4）
14. 2015年度第2回目録委員会記録（5ページ-A4）

[報告事項ほか]

1. 議事録の確認
2015年度第2回目録委員会記録（資料7）について確認した。
2. ICP改訂案へのコメントについて
コメントをIFLAに送付し、受領したとの回答があった。

[検討事項]

NDL 収集書誌部から 4 月 28 日に送付された、「タイトル」「責任表示」「版表示」「逐次刊行物の順序表示」の各条文案と関連資料（資料 1～6）について、集中審議を行った。

1. タイトルについて

NDL 収集書誌部作成の「体现形（タイトル）案」（資料 2）について、以下のように検討した。

- 本タイトルの「記録の範囲」には、本来の範囲（定義に類似）の規定だけでなく、文字列のどの部分が本タイトルの範囲かなど、本タイトルの確定に関する規定まで含まれている。これは「記録の方法」に置く方が良い。
- 異形タイトルは、タイトルのどの種類でもない要素として記録するのだから、最後に位置付けるべきではないか。
- ルビを伴う本タイトルについて、読みの規定がないが、加えた方が良い。
- 総合タイトルのある資料の規定は、a) 包括的記述と b) 分析的記述に分けた方が良いのではないか？
- 総合タイトルのある資料の任意追加の規定に相当する RDA の規定が改訂されたので、確認する必要がある。
- 複数個所に、注記として記録する方式と角括弧の使用等の方式の一方を選択させる規定があるが、切り分けが分かりにくい。また併用させる選択肢もあってよいのではないか。
- 逐次刊行物の本タイトルの重要な変化に関する RDA の規定が改訂されて、分かち書きをする言語としない言語とに二分されたので、確認する必要がある。
- 複製の規定が、委員会案ではタイトルの通則に規定していたのに、本案では各エレメントで規定されており、複製の本タイトル以外のタイトルについてはどうするか判然としない。

2. 責任表示について

NDL 収集書誌部作成の「体现形（責任表示）案」（資料 3）について、以下のように検討した。

- 責任表示の記録の目的は、通則を置くことで内容を整理してはどうか？
- 複数の責任表示を記録する際には、情報源に記載の通りに記録する方法と区切り記号を用いる方法との両方を許容するようにする。
- 誤表示の規定が、タイトルの部分にあるのに責任表示の部分にないが、良いのか。
- 例示に 2 以上の著者の例を挙げる。また著者を列挙する際の区切り記号を統一するか、という問題がある。
- 和古書・漢籍の役割表示を情報源通りに転記しない案となっているが、あえてそうすべきか疑問がある。

- 本タイトルが総称的な語である逐次刊行物は、責任表示の重要な変化によって新しい体现形を作成すべきという規定を残すなら、変化の通則との相互参照が必要なのではないか。なお、RDA1.6 で逐次刊行物だけは、責任表示の重要変化が新たな記述の根拠になっている。

3. 版表示について

NDL 収集書誌部作成の「体现形（版表示）案」（資料 4）について、以下のように検討した。

- 和古書・漢籍の版表示は、どの実体の注記として記録するのが整理しておいた方が良い。

4. 逐次刊行物の順序表示について

NDL 収集書誌部作成の「体现形（逐次刊行物の順序表示）案」（資料 5）について、以下のように検討した。

- 順序表示は逐次刊行物に限らず複数巻単行資料にも必要だが、RDA では逐次刊行物のエレメントである。複数巻単行資料の順序表示は、これを準用することになる。

これらの検討内容および委員から事前提出されたコメント内容について、田代委員・津田委員が NDL に持ち帰り検討することとした。

次回以降の委員会の予定

7月11日（土）

9月19日（土）

以上